

第22期(平成26年度)事業報告書、貸借対照表  
及び損益計算書

有限会社 豊田あぐりサービス

下関市豊田町大字八道601番地3

## 第 22 期 事 業 報 告 書

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

### 1. 事業経過

豊田めぐりサービスは、豊田地域の農業従事者の高齢化や担い手の減少による農地の荒廃を阻止するため、第 3 セクターとして平成 5 年に設立し、当初、農作業受託を中心に事業を行ってまいりましたが、平成 18 年から下関市豊田農業公園「みのりの丘」を管理運営する指定管理者の指定を受け、公園施設の管理を通じた雇用の確保と、地域農業の一翼を担っております。

こうした趣旨を踏まえ、様々な業務を行っておりますが、地域農業を支える農作業の受託業務は、地域内に農業生産法人や営農組織の育成が推進されていることや、米価が下落傾向にあることなどから、稲作の作業受託を中心に減少の傾向にあります。

また、農業公園施設の利用者・来園者数については、施設ごとに増減はあるものの、全体的に減少の傾向にあります。これは、施設の老朽化や景観に目新しさがないことなどが一因と考えられます。

平成 26 年度の経営状況につきましては、全体として約 1,066 千円のマイナス決算となりました。経常収支については、経費の削減に努めたものの、昨年と同程度の約 900 千円のマイナス決算となりました。

要因としては、無人ヘリによる防除業務の減少をはじめ、イチゴの育苗・定植時の管理不良による「イチゴ狩り」の中止や収穫量の減少などにより、売り上げが大きく落ち込んだこと、また、受託業務や公園管理に必要な無人ヘリコプター、トラクター、飼料収穫機などの大型機械の更新による減価償却費の増加、各種助成金などの営業外収益が減少したことが、大きく影響したものと思われま

### 2. 部門別の実績

#### (1) 一般管理

一般管理費については、ホームページや公的広報誌等の活用などによる広告宣伝費やコピー機のリース契約の見直しなど、事務費の削減に努めました。また、消費税増税に伴う各種利用料金や作業料金の見直しを実施し、経費の適正化に努めました。しかしながら、レストランや農産物・加工品販売、各体験部門については、消費税の価格転嫁は困難な状況のまま推移しております。

人件費については、従業員 1 名が 12 月に退職したこと、パート従業員の農閑期の勤務時間の短縮、また、常勤取締役を報酬支給に切り替えるなど、人件費の削減や適正化に努めました。

更に、食彩館のレジスターを更新し、サービスの向上と仕入・販売業務の効率化を図

りました。

## (2) 公園管理

公園内の景観を保つため、花壇に花の植栽や植込みの剪定、こまめな草刈りを行いました。

また、公園内施設については、短期ログハウスの外壁塗装とベランダ補修をはじめ、遊具の点検・補修などを行い、利用者へのサービス向上に努めました。

## (3) 農作業受託

稲作を中心とした普通作物の作業受託状況は、農業生産法人や営農組織の増加により、減少傾向にあります。

田植えは5.3haで、前年比70%、水稻苗の配達は16,584箱(82.9ha相当)で、前年比113%、稲刈りは32.1haで、前年比92%、その他耕起・代かきは1.3haで、前年比1.1ha増となりました。

大豆は、除草、中耕作業、刈取り・乾燥調製作業を行いました。収穫作業は、黒大豆(のんたぐろ)・白大豆(サチユタカ)の合計21.1haで、前年比97%、乾燥調製については、作柄が良かったこと、オペレーターの技術向上、他地区からも積極的に受け入れたことから、33.2tの処理を行い、前年比155%となりました。

そばは、刈取り・乾燥調製作業が0.2haで、前年比15%に留まりました。要因は、転作助成金の減額による面積の減少と夏場の天候不順により、収量の減少が大きく影響したものと思われます。

たまねぎは、公園内に前年同様0.3ha定植し、8tを収穫、前年比66%となりました。豊田道の駅、JA「いただきマート」、学校給食共同調理場、公園内売店で、7月から12月まで、市場価格に応じて販売しました。しかしながら、定植遅れにより小玉が多かったことと、収穫後の天候不順でかびや腐食が発生したことなどから、商品化率が低下し、販売額は548千円で、前年比50%となりました。また、たまねぎ収穫体験を行い、90組が体験されました。

受託作業は、豊浦・菊川地区を含め1.8haの畝立て作業を行いました。また、公園内に前年より0.1ha少ない0.2haの作付けを行い、生育は順調に推移しております。

## (4) 無人ヘリコプター農薬散布

水稻の防除面積は、出穂前、出穂後の延べ面積257.5haで、前年比182%と大幅に増加しました。要因としては、オペレーターの養成ができたことが大きいと思われます。しかしながら、市内全体の受託面積は2,624haで、前年比90%と減少しました。

また、麦・大豆については13.5haで、前年比11ha増の防除を行いました。

## (5) 堆肥製造販売

施設の利用状況は、2戸1法人から原材料594tが搬入され、前年比121%となりました。しかしながら、販売量は111.8tで、前年比85%と減少しました。

要因は、農家の高齢化や米価の下落により、土づくりの意欲が減退しつつあるものと

思われます。

ミネラル散布は、トラクターの新規導入に伴い作業料金を見直したことや米価の下落などから 5.7ha で、前年比 39%となりました。

#### (6) ライスセンター

水稻の作況は、8月の長雨・日照不足により、早生品種は収量・品質ともに低下しました。ライスセンターの利用状況は、54戸、処理量 174.2t (33ha 相当) で、前年比 87%となりました。

#### (7) 温室ハウス

サラダほうれん草部門は、燃料費削減のため冬季の栽培を中止したことにより、収穫量は 5.2 トンで、前年比 77%に<sup>とど</sup>まり、販売額は 2,977 千円で、前年比 87%となりました。経常赤字は 1,795 千円で、前年度より 27%削減されました。

トマト部門は、9月定植の翌年7月まで収穫の周年栽培を行っておりますが、栽培後半の樹勢が落ちるため、苗の台木を一部変更し、誘引方法も改良した結果、樹勢の改善も見られ、収穫量は 3.4t で、前年比 117%、販売額は 2,529 千円で、前年比 108%となりました。この結果、経常赤字は 459 千円で、前年度より 35%削減されました。

イチゴ部門は、定植床の管理ミスにより湿害が発生し、生育不良により収穫量は 0.63t で、前年比 40%、販売額は 1,000 千円で、前年比 44%となりました。経常赤字は 1,533 千円で、前年度より 17%削減されました。

#### (8) 果樹

梨部門は、4月の開花・交配時の天候に恵まれて着果数が増加し、収穫量は前年度より 55%増の 45t になりました。また、梨狩り入園者数は、過去最高の 2,813 人で、アクセスの良さがリピーターにつながったものと思われます。販売額は、梨狩りを含め、7,820 千円で、前年比 135%となりました。

ブドウ部門では、平成 22 年の雪害が尾を引いており、順次補植を行っていますが、獣害もあり対応に苦慮しています。そうした中で樹勢の回復も見られ、前年より 3 倍以上の 78kg の収穫を得ることができたことは、将来につながるものと期待しております。

桃・ブルーベリー等その他の果樹については、桃が増収したもののその他は管理不十分で減収となりました。

#### (9) 地域食材供給施設

物販部門の来客数は、年々増加傾向にあり、24,584 人で、前年比 104%となりました。一方、販売額については 22,236 千円で、前年比 93%に<sup>とど</sup>まりました。要因は、トマトによる集客力は依然強いものの、消費税増税の影響から 1 人当たり購買単価が減少したものであると思われます。

食堂部門の来客数は、14,210 人で前年比 88%と減少したものの、販売額は 14,965 千円で、前年比約 8%増となりました。要因は、「手打ちそば」はもちろん、ジビエや山口高原豚を使った新メニューが売り上げ増に大きく貢献したものであると思われます。

豆腐やアイスの生産販売については、前年並みで推移しておりますが、食彩館全体の販売額は37,201千円で、前年比98%となっております。

(10) 精米・製粉施設

精米製粉は、地域住民や地元加工団体などからの利用が多く、製粉は91件、処理量2.1tで、前年比77%となりました。精米は315件、処理量45.2tで、前年比104%となりました。精米・製粉全体でみると利用者数は前年比106%の406件、処理量102%の47.3tとなっております。

(11) 体験・都市農村交流

農業体験部門は、参加人数1,395人で、前年比123%、参加料収入は1,106千円で、前年比127%となりました。要因は、ホームページや公共広報誌などによる情報発信が有効的であったものと思われます。

市民農園は、現在6区画が契約され、残り34区画の内20区画は、年度初めに草刈り、耕耘<sup>うん</sup>などを行い、受け入れ態勢を整えましたが、問い合わせはあるものの、駐車場やトイレ、水汲み場がないことから、新たな利用者の確保はできませんでした。

長期宿泊施設は、4棟のうち1棟については、利用者が確保できなかったものの、宿泊者には野菜作りなど、積極的に農作業をされ、イベントにも家族で参加していただきました。

短期宿泊施設は、1棟で、8月の天候不順と、建物補修工事により利用を制限したことから、利用者数は654人で、前年比71%と減少しました。

(12) 肉用牛繁殖育成施設

現在の飼養状況は、肉用繁殖牛26頭、育成・子牛16頭の計42頭を飼育しております。今年度の市場への出荷頭数は、子牛15頭、成牛2頭の計17頭で、昨年より1頭増、販売額は7,773千円で、前年比113%となりました。要因は、出荷までの飼養管理の改善により評価が上がったこと、また、子牛不足から購買意欲が高く推移したことによるものと思われます。

また、繁殖率も60%程度で、改善されつつあります。

3. 事業成績の推移

(単位：円)

年度 (期)	23年度 (第19期)	24年度 (第20期)	25年度 (第21期)	26年度 (第22期)
売上高	194,042,398	200,002,443	202,607,347	194,252,669
当期純利益	287,687	△11,274,446	1,954,837	△1,065,546

第 2 2 期

# 決 算 報 告 書

平成26年 4月 1日から

平成27年 3月31日まで

有限会社 豊田あぐりサービス

# 貸借対照表

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

代表者 上川 正昭

平成27年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
I (資産の部)	(	I (負債の部)	(
流動資産	23,328,914)	流動負債	20,546,162)
現金及び預金	12,003,365	短期借入金	8,000,000
な掛卸替引資産	1,265,235	未払法人税等	10,882,907
た立貨倒引当金	10,039,045	未払消費税	182,500
	28,269	未預り	1,453,300
	△ 7,000		27,455
II 固定資産	( 34,939,975 )	II 固定負債	( 29,255,724 )
有形固定資産	33,965,886)	長期借入金	13,680,184
構築物	4,557,984	長期未払金	15,575,540
機械及び器具	12,698,811		
建物	93,263		
構築物	2,462		
車両	28,332		
工具、器具	1,372,187		
生立	15,212,847		
無形固定資産	( 227,864 )		
電話加入権	227,864		
		負債の部合計	49,801,886
		(純資産の部)	(
		I 株主資本	8,467,003)
		1. 資本金	15,300,000
		2. 資本剰余金	( 0 )
		3. 利益剰余金	(△ 6,832,997)
		(1) その他利益剰余金	(△ 6,832,997)
		別途積立金	50,000
		繰越利益剰余金	△ 6,882,997
		II 評価・換算差額等	( 0 )
		III 新株予約権	( 0 )
III 繰延資産	( 0 )	純資産の部合計	8,467,003
		負債・純資産の部合計	58,268,889
資産の部合計	58,268,889		

# 損益計算書

平成26年 4月 1日から  
平成27年 3月31日まで

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

(単位：円)

科 目	金 額	
I 売上 の 他 上 業 高 指 定 管 理 料 収 入 入	67,287,628 115,120,041 11,845,000	194,252,669 194,252,669
II 売期 商 上 原 価 当 首 た な 卸 高 合 品 仕 業 入 価 他 期 作 業 原 計 期 末 勘 定 振 替 高 売 上 総 卸 利 益	13,451,837	1,591,799 13,451,837 143,306,563 158,350,199 609,186 1,019,409 156,721,604 37,531,065
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 業 務 一 般 管 理 費 営 業 費 損 失		39,251,775 39,251,775 1,720,710
IV 営 業 外 収 益 受 取 配 当 金 入		2,009 780 3,167,130 3,169,919
V 営 業 外 費 用 支 払 利 息 割 引 料 失		500,589 1,848,666 2,349,255
経 常 損 失		900,046
VI 特 別 利 益 貸 倒 引 当 金 戻 入		17,000 17,000
VII 特 別 損 失		0 0
税 引 前 当 期 純 損 失 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 当 期 純 損 失		883,046 182,500 1,065,546



販売費及び一般管理費の計算内訳

平成26年 4月 1日から

平成27年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額
給 与	14,320,952
旅 費	1,587,450
廣 告	67,827
容 器	1,419,628
支 払	23,414
役 員	4,715,200
事 務	1,822,789
従 業	599,999
法 定	4,448,288
福 利	169,302
減 価	336,596
地 代	1,105,050
事 務	546,852
通 信	864,645
租 税	2,775,160
備 品	922,653
貸 倒	7,000
雑 費	3,518,970
合 計	39,251,775

たな卸資産の計算内訳

平成27年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	645,220
製 品	585,088
仔 牛 育 成	2,107,116
原 材	5,967,832
仕 掛 品 (半 成 品)	456,917
貯 蔵 品	276,872
合 計	10,039,045

作業原価報告書

平成26年 4月 1日から  
平成27年 3月31日まで

(単位：円)

科 目		金 額
I 材 期 材 合 期 当	料 棚 卸 費	
	首 材 料 仕 入 高	6,300,653
	材 料 仕 入 高	46,469,976
	計	52,770,629
末 材 料 棚 卸 高	材 料 棚 卸 高	5,967,832
	材 料 棚 卸 高	46,802,797
II 労 雇 当	務 人 件 費	
	用 期 務 費	18,794,623
III 経 作 電 水 燃 荷 減 保 機 保 借 雜 当 期 当 期 合 期 当	業 委 託 費	48,700,368
	電 力 道 料 費	6,999,257
	水 道 料 費	56,599
	燃 料 運 賃 費	5,409,832
	荷 造 価 運 賃 費	246,273
	減 価 償 却 費	6,707,407
	保 修 費	6,816,348
	機 械 賃 借 料	427,713
	保 険 料	1,018,323
	借 入 料	49,000
	雜 費	1,132,050
	当 期 経 業 費 用	77,563,170
	当 期 首 仕 掛 品 た な 卸 高	143,160,590
	合 計	3,197,777
	期 末 仕 掛 品 た な 卸 高	146,358,367
当 期 作 業 原 価	3,051,804	
	143,306,563	

# 株主資本等変動計算書

商号 有限会社 豊田あぐりサービス

平成26年 4月 1日から  
平成27年 3月31日まで

(単位：円)

<b>I 株主資本</b>			
1. 資 本 金	当期首残高		15,300,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>15,300,000</u>
2. 利 益 剰 余 金			
(1) その他利益剰余金			
別 途 積 立 金	当期首残高		50,000
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>50,000</u>
繰越利益剰余金	当期首残高		△ 5,817,451
	当期変動額		
	当期純損失	△ 1,065,546	△ 1,065,546
	当期末残高		<u>△ 6,882,997</u>
その他利益剰余金合計	当期首残高		△ 5,767,451
	当期変動額		
	当期純損失	△ 1,065,546	△ 1,065,546
	当期末残高		<u>△ 6,832,997</u>
<b>株主資本合計</b>	当期首残高		9,532,549
	当期変動額		
	当期純損失	△ 1,065,546	△ 1,065,546
	当期末残高		<u>8,467,003</u>
<b>II 評価・換算差額等</b>	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
<b>III 新株予約権</b>	当期首残高		0
	当期変動額		0
	当期末残高		<u>0</u>
<b>純資産の部合計</b>	当期首残高		9,532,549
	当期変動額		
	当期純損失	△ 1,065,546	△ 1,065,546
	当期末残高		<u>8,467,003</u>

第22期 収支決算内訳書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：円)

部門別	収入			支出		
	予算額	決算額	摘要	予算額	決算額	摘要
総管理	7,324,000	8,737,803		21,800,000	22,592,557	
指定管理業務		6,747,940	指定管理料 6,745,000 施設利用料等 2,940		8,130,382	指定管理経費 8,130,382
自主事業		1,989,863	自販機雑入等 1,989,863		14,462,169	人件費等 14,462,169
農業委託	14,500,000	14,537,637		11,000,000	11,021,274	
指定管理業務						
自主事業		14,537,637	水稻作業 8,073,894 大豆等作業 6,463,743		11,021,274	水稻経費 3,434,576 大豆等経費 7,586,698
農産物農薬散布	104,000,000	95,011,570		93,000,000	86,943,806	
指定管理業務						
自主事業		95,011,570	農薬散布作業 95,011,570		86,943,806	農薬散布経費 86,943,806
堆肥センター	3,450,000	2,321,600		4,100,000	3,860,818	
指定管理業務		602,940	指定管理料 300,000 施設利用料 302,940		2,015,116	指定管理経費 2,015,116
自主事業		1,718,660	堆肥販売等 1,718,660		1,845,702	堆肥製造等経費 1,845,702
ライスセンター	9,200,000	7,517,380		5,800,000	4,629,630	
指定管理業務		6,009,406	施設利用料 6,009,406		2,916,971	指定管理経費 2,916,971
自主事業		1,507,974	運搬・資材費等 1,507,974		1,762,659	運搬・資材費等 1,762,659
温室ハウス	9,500,000	6,505,726		12,800,000	10,293,230	
指定管理業務						
自主事業		6,505,726	サラダほうれん草 6,505,726 イチゴ・トマト		10,293,230	農産物生産経費 10,293,230
果樹	7,200,000	7,883,644		5,700,000	6,198,162	
指定管理業務						
自主事業		7,883,644	梨・ブドウ等 7,883,644		6,198,162	農産物生産経費 6,198,162
地域食材供給施設	33,150,000	37,201,248		36,200,000	38,753,763	
指定管理業務					402,974	指定管理経費 402,974
自主事業		37,201,248	竹膳 14,965,079 物販・アイス 22,236,169		33,350,789	竹膳経費 13,253,883 物販経費 20,096,906
米・粟粉施設	1,550,000	1,272,024		1,250,000	1,119,403	
指定管理業務		1,272,024	指定管理料 100,000 施設利用料 1,172,024		1,119,403	指定管理経費 1,119,403
自主事業						
体験・都市農林交流	5,800,000	5,163,992		6,100,000	6,070,429	
指定管理業務		3,830,752	指定管理料 2,000,000 施設利用料等 1,830,752		2,844,917	指定管理経費 2,844,917
自主事業		1,333,240	体験料等 1,333,240		3,225,512	体験等経費 3,225,512
肉用牛繁殖販売施設	6,500,000	8,520,859		9,000,000	9,189,208	
指定管理業務		100,000	指定管理料 100,000		87,091	指定管理経費 87,091
自主事業		8,520,859	子牛販売等 8,520,859		9,102,117	肉用牛飼養経費 9,102,117
田園空間博物館施設	2,660,000	2,649,105		2,600,000	2,765,860	
指定管理業務		2,649,105	指定管理料 2,600,000 施設利用料 49,105		2,765,860	指定管理経費 2,765,860
自主事業						
合計	209,934,000	197,422,588		209,350,000	198,488,134	
指定管理業務		21,212,167	指定管理料 11,845,000 施設利用料等 9,367,167		20,282,714	指定管理経費 20,282,714
自主事業		176,210,421	自主事業収入 176,210,421		178,205,420	自主事業経費 178,205,420

利益金処分

I	当期純利益	△ 1,065,546 円
II	前期繰越利益剰余金	△ 5,817,451 円
III	次期繰越利益剰余金	△ 6,882,997 円

平成27年 5月20日

有限会社豊田あぐりサービス

代表取締役 上川正昭



# 監 査 報 告 書

有限会社 豊田あぐりサービス  
代表取締役 上 川 正 昭 様

有限会社 豊田あぐりサービス の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第22期事業年度の貸借対照表、損益計算書及び会計帳簿は、定款に従い財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。

平成27年5月18日

有限会社 豊田あぐりサービス  
監査役 山 名 俊 也